

## あいさつ運動等を通して、児童生徒の主体的な活動を推進する

ねがい

### 〈 目的 〉

まわりの友だちや上下級生、地域の方に、あいさつを通して主体的に関わりをもつことで、社会の一員として役割を果たし、行動できる児童生徒の育成をめざして、活動することにしました。

つながり

### 〈 内容 〉

#### ● 学校間や地域の連携を図った児童会・生徒会活動

児童会・生徒会が中心となり、あいさつ運動を企画しました。人とのつながりの出発点がいさつであることを自覚し、ボランティアを募集して学校の正門や通用門での活動を行いました。さらに地域との連携を意識して学校外での活動を発案し、琴電屋島駅でのあいさつ運動を実施して地域の方との交流を行いました。最初は照れくさそうにしていたのですが、日数を経るごとに堂々と大きな声であいさつや声かけを行うことができるようになりました。また、地域貢献の意識を高めるため、ボランティア活動に積極的に参加しました。屋島清掃、海岸清掃など地域の人と交流しながら活動し、自分の役割を果たすとともに励ましの声をいただくことで自己肯定感を高めることができました。



【屋島中校区内での、各小中学校で行われているあいさつ運動(屋島西小、屋島東小、屋島小、屋島中)】

#### ● 集団づくりを推進する学級活動

学級活動や道徳の授業で、構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの活動を取り入れたり、意図的なグループ構成(例えば異学年縦割り活動)で授業や活動を行ったりして、相互の人間関係づくりに重点をおいて取り組みました。また、日常の観察や交流に時間をかけるとともに、質問紙アンケートを取り入れるなどして内面の変化や状況把握に努めました。

高まり

### 〈 成果 〉

このような、同級生や上下級生、先生方や地域の方とあいさつを出発点としたつながりを意識した取組を行うことで、自分から積極的に声をかけることができる小中学生が増えてきました。取組の中で意識したのは、自分の学校で完結する活動ではなく社会の一員としての成長をめざし、自分の活動が役に立っているという自己有用感を持たせることです。今後も、なかまづくりを中心に集団づくりのポイントを押さえていき、規範意識の向上につなげていきたいと考えています。